

漢字あれこれ

「何でこないに頭わりーんやろ」 いままで事あるたびにこう言って嘆いてきた。その原因が、小学生のときにまじめに漢字を覚えなかったことにあるらしい。

日本人の知能指数が諸外国に比べて相対的に高いのは、幼少時に難解なる漢字を書いたり、読んだりして来た事にあり、脳の発達に大いに寄与していたらしい。脳の発達が漢字のみに留まらずあらゆる思考能力を高めるのに役立っているらしい。

こんなことを今更聞かされてもどうしようもなく、当時に知らされて居れば、もう少し何とかなったかもしれない、惜しいことをした。幼少時のことをつらつら思い出してみるに、漢字の書取り試験なんててんで馬鹿にしており、勉強したという記憶がないのである。

極力文字書きを避けて過してきた。晩年になりワープロを覚え、いまはこのパソコンに頼り、もう苦手な文字書きをしなくても済むようになった。しめしめと喜んでおり、少しばかり覚えていた漢字も思い出す必要もなく、ポケモ進行しているから、完全に脳裏から消えうせた。

日本語の文章の美しさ、合理性が見直され国語力を身につけることが幼児教育に大変によいということで文部科学省では力を入れ始めたらしい。(ほんとうかなあ)

漢字には画数の多いものもあり、それを覚えること、書くことにより、目の発達、指先の器用さが脳の発達を促進するらしい。

また文章の構成も、漢字があって、ひらがながあって、カタカナがあって、ときにはローマ字も入り、その使い方が実に巧妙に成り立っており、名文はそれらが実にみごとな調和と構成で表され、美しい文章となっている。

このように何種類もの文字を使い分けて文章が成り立っているのは日本だけの、特有なものらしい。

そういえば、中国は漢字だけであり、欧州等は A B C だけであり、漢字を使う中国人は頭が良く、ヨーロッパ人は阿呆が多いと云うわけではないだろうが、日本の言葉、文字、文章は誇りを持って後世に伝えてゆかねばならない。自分の失敗を教訓として、孫たちには、くだらない書取り試験だなんて言わせないで、日本の優秀な頭脳の継承のためにも頑張って貰わなければならない。

孫たちは、一昔前とは違って、現代風のすごく立派な漢字の素晴らしい名前を貰っている。良夫君とか正夫くん花子ちゃん正江ちゃんとはと見られなくなってしまった。現代っ子の父ちゃん母ちゃんが、一人っ子、二人っ子の大切な大切な我が子のために 7 日 7 晩寝ないで、姓名判断、字画占いの本に首っ引きで考えてくれる。我が子の一生に想いを込めて、親としての最初の大きなプレゼントを贈る儀式なのだ。

中には、自分の子供であることを忘れてしまって、あまりにも壮大な名前にしたり、あまりにも美女を連想する名前を付けたりして、先々本人との違いがありすぎて、失敗したって後悔する事もあるらしいが、産まれた時はどの赤ん坊も猿みたいで、美人になるか美男になるか、頭がいいか、悪いかわかりっこないんだから、当たらずとも仕方が無いでだろう。

親が子供に託した期待が多かったことはほほえましい風景じゃあないですか。

子供は自分に与えられた難解な名前をマスターすることにより脳細胞は発達し、手指は器用になります。世界一の外科医になるかも知れません。

この 6 月に産まれた赤ちゃんの名前を抜粋しました。参考までに漢字の意味するところは漢和辞典でお調べ下さい。(むづかしいゾ～)

麗波(うるはくん)	映澄(えすみちゃん)
志穩(しおんくん)	乙寧(おとねちゃん)
思聞(しもんくん)	汧弥(さやちゃん)
奏汰(かなたくん)	寿椰(しゅなちゃん)
福助(ふくすけくん)	茅那(ちなちゃん)
琉夏(るかくん)	絆那(はんなちゃん)
蓮吐(れんとくん)	凜音(りのんちゃん)
朔也(さくやくん)	瑠有(るうちゃん)

両親の限りの愛を受け、すくすくと育ち、期待にたがわぬ立派な大人になってください。

あなた達が、私たちの年代になる頃には、時代はめぐり、また武彦君、和男君 良枝ちゃん、雅子ちゃんが生まれてきますね。

懸賞募集

左図の中心に、それぞれ 1 個の漢字を入れ、周りの 8 個の漢字を使った 2 字の熟語を作ってください。上下どちらに使ってもよし。

の漢字を使い 2 文字の熟語が出来ます。

答えが出来ましたら連絡網幹事まで電話でお寄せ下さい。正解者の全員に図書券を贈呈します。(幹事は参加しません)

